

『 kokoro 』 工賃向上計画

(令和6年4月22日作成)

I 事業所の概要			
事業所名	kokoro		
事業所種別	就労継続支援B型	定員	20
管理者	桑名大輔	担当者	桑名大輔
開設年月	平成21年12月1日	新体系移行年月日	令和6年4月1日
所在地等	(〒 300 - 1222) 住所 茨城県牛久市南4丁目22番地25 電話 029-873-4232 FAX 029-873-4232 e-mail mail@soso-company.com URL https://soso-company.com		
設置主体	株式会社創想		
運営主体	株式会社創想		
開設目的(理念)	利用者が日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。		
運営方針	利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。また知識との結びつきを重視し、市町村、他の障害福祉サービス事業者、保健医療サービスを提供する事業者との連携を強める。		
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (令和6年4月1日現在)	身障	1級: 名 2級: 名 3級: 1名 4級~: 名	
	知的	OA: 名 A: 名 B: 名 C: 1名	
	精神	1級: 2名 2級: 10名 3級: 1名	
	その他	5名 (診断書等による者)	
利用者の男女の別	男性	7名 (平均年齢 42.7歳)	女性 13名 (平均年齢 49.1歳)
工賃向上計画 対象以外の実施事業	就労定着支援、共同生活援助、 放課後等デイサービス、児童発達支援、相談支援		
工賃の決定・支払方法	作業毎時給と月給を合算して決定。 月初日から末日までの作業に係る工賃を次月25日に支払う。		

II 作業の内容		
No.	作業名	内容(簡潔に説明)
①	ベーグル・焼き菓子の製造・販	ベーグル、焼き菓子の製造、および、店舗販売、出張販売
②	パッケージング作業請負	ネットショップ販売用商品のパッケージング作業
③	軽作業	ネジ巻き、袋詰め、キーホルダーづくり、がま口包装、落花生殻むき
④	施設外終了	カードゲームのオリジナルパックづくり、おもちゃ袋詰め・値付け

Ⅲ 目標工賃の設定		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
項 目		実績額 (現状)	目標額	目標額	目標額
A 目標工賃(円)	月額 (E/H/I)	23,609	24,777	26,087	27,311
	時給(任意)				
B 年間総収入(円)		10,042,000	11,830,000	12,600,000	13,400,000
C 年間総原価(工賃除く)(円)		7,980,000	8,500,000	9,000,000	9,500,000
D 工賃支払前収支(円) (B-C)		2,062,000	3,330,000	3,600,000	3,900,000
E 年間工賃支払総額(円)		3,088,035	3,330,000	3,600,000	3,900,000
F 年間延べ利用人数		2,931	3,000	3,100	3,200
G 年間開所日数		270	270	270	270
H 平均利用者数(F/G)		10.9	11.2	11.5	11.9
I 年間開所月数		12	12	12	12

※目標工賃は、必ず月額を記載してください。

※各年度の目標工賃額は、前年度以上の額としてください。

Ⅳ 目標達成に向けた取組

(1) 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

事業収入の8割がベーグル製造販売と、パッケージング作業である。
 パッケージング作業は請負作業のため自力での売り上げ向上は見込めない。
 軽作業は収入が少ないが多くの利用者が関わっている。
 令和5年度半ばから施設外就労を始めた。屋内作業で、参加希望の利用者が比較的多い

② 取組の基本方針と具体的方策

基本方針	ベーグル製造販売の売上向上。 施設外就労の日数を増やす。
具体的な取組方針	ベーグル製造販売：新商品の開発と委託先等の販路拡大。 施設外就労のための人員配置の見直し。

③ ②の基本方針に関する現状と課題

経営的視点	ベーグル増産体制は整った。既存販売先での売上拡大と、販路拡大を目指す。 パッケージング作業は請負であるため製造量をコントロールすることが出来ない。作業効率を上げることでより、収益率を上げることが必要。また、ロスが多く出るためロス管理が重要となる。 軽作業の作業量が増加。しかし単価が低い。 施設外就労は単価がいいが、人員配置上、行える曜日が限られている。就労先でも、他の事業者との兼ね合いもあり、日数を増やすことにも限界がある。
福祉的視点	ベーグル製造は通所時間を柔軟にし、多くの利用者が参加できる状態になっているが、調理場の都合上、人数に制限がある。 パッケージング作業は誰でもできる作業ではある。しかし、製品として出荷するためには細かいところまで注意を払う必要があり、そこまでできる人材が不足している。また、そのためにロスが多く出ている。 軽作業は単価が低い、障害によりできる作業が限られている利用者もおり、作業をなくすことが難しい。 施設外就労は、屋内であり、作業内容も誰でもできるものであるが、作業所を離れるということにハードルがある方がいる。

⑤ 現段階で考えられる改善の方策と、行政・福祉団体・企業・住民等との連携

工賃規定の見直し：作業別単価。
 ベーグル製造：人員は確保できつつある。販路の拡大を目指す。
 パッケージング作業：はじめにロスの管理を徹底する。その上でロスが多く出ている工程の作業方法見直しを行う。
 軽作業：長く取引をしている企業・事業者から請け負っている作業の単価交渉。
 施設外就労：現行就労先での日数を増やす。新規就労先の開拓。

(2) 作業別の取組方針 - ①

<p>作業名①</p>	<p>ベーグル・焼き菓子の製造・販売</p>
<p>取組方針</p>	<p style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </p>
<p>理由</p>	<p>製造に十分な人員がすでにいる。製造量を増やすことが可能。 作業能率に課題があり、工程等の見直しが必要(主にクッキー)。</p> <hr/> <p>【経営環境分析】 内部環境(強み・弱み)、外部環境(機会・脅威)を整理</p> <p>[強み] これまでの取り組みにより、経営状況が比較的安定している。 地元産の自然派原料にこだわっており、リピーターが比較的多い。</p> <p>[弱み] 現在の利用者の作業スピードを上げる工夫が出来ていない。 商品に使える原材料が限られている(オーガニック、卵・乳・砂糖不使用)</p> <p>[機会] ネット販売やふるさと納税での注文、委託や卸でのクッキー販売が軌道に乗ってきた。 店舗はあまり売上比率は大きくなく、ネット販売中心で売り上げを上げてることができている。</p> <p>[脅威] 新商品を出すことができていないため、飽きられてしまう可能性がある。 今般の物価上昇のため、価格を上げざるを得ない</p>
<p>目標</p>	<p>店舗営業を縮小。 製造開始を後ろ倒しにすることで、多くの利用者が参加可能な状態にし、製造量を確保する。 オンラインショップを中心に販路拡大していく。 新商品の開発をし、新規顧客の獲得やリピート率の向上、原価率を下げることに取り組んでいく。</p>
<p>具体的な 目標達成策</p>	<p>①収入面について(商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等) オンラインショップを中心に販路拡大をはかる。 商品のセット内容を検討し、バリエーションを増やす。ギフト商品を作る</p> <p>②支出面について(仕入れ、業務改善、コスト低減等) ロス管理を再度徹底して、不要な仕入れを減らす。 値上げを実施し、原価率を適正にしていく。</p> <p>③その他 店舗営業日は縮小。受注販売への移行をしていく。 製造開始時間を9時(または10時)と、利用者が参加しやすい状態を作る</p>

(2) 作業別の取組方針 - ②

<p>作業名②</p>	<p>パッケージング作業請負</p>
<p>取組方針</p>	<p>強化 現状維持 縮小 撤退</p>
<p>理由</p>	<p>請負作業であり、自力で受注数をコントロールをすることが出来ない。 現状でロスが多く出ており、余分な作業時間がかかっている。 作業工程を見直しすることにより、利益率を上げていくことを目標とする。</p> <hr/> <p>【経営環境分析】 内部環境(強み・弱み)、外部環境(機会・脅威)を整理</p> <p>[強み]</p> <p>単価が軽作業よりも高い。 天候に左右されない。</p> <p>[弱み]</p> <p>自力で受注量を増やすことが難しい。 関わる人員を増やしたことによりロスが増えた。</p> <p>[機会]</p> <p>当社の関連会社からの受注であるため、施設への理解がある。 受注数は比較的安定している。</p> <p>[脅威]</p> <p>受注量の極端な増加には対応が難しい。</p>
<p>目標</p>	<p>ロス管理を行うこと。 その結果、ロスが多い工程に関しては、作業工程の見直しを行い、ロスを減少させる。</p>
<p>具体的な 目標達成策</p>	<p>①収入面について(商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等) 作業分析や、作業用品の見直しを随時行い、作業効率と生産性の向上を目指す。</p> <p>②支出面について(仕入れ、業務改善、コスト低減等) 毎月末の棚卸の徹底と無駄のない仕入れ 作業に使用する物品の扱いの管理指導、消耗品等のロス削減</p> <p>③その他</p> <p>品質管理と納期厳守を徹底し、発注元との連絡を密に行うことで、お互いに意見しやすい環境を築く。</p>

(2) 作業別の取組方針 - ④

作業名④	軽作業
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>単価交渉をする。</p> <p>【経営環境分析】 内部環境(強み・弱み)、外部環境(機会・脅威)を整理</p> <p>[強み]</p> <p>作業量が多い会社から請け負うことが出来ている。納期も厳しくない。</p> <p>誰でもできる簡単な作業である。</p> <p>[弱み]</p> <p>単価が低い。</p> <p>部材が重すぎる。場所をとる。</p> <p>[機会]</p> <p>横のつながりから受注できることがある。</p> <p>[脅威]</p> <p>原材料が海外からの輸入のものも多く、作業量の安定に欠ける</p>
目標	高品質での作業を継続し、請負先との関係性を構築することで、単価交渉・単価アップを図っていく。
具体的な目標達成策	<p>①収入面について(商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等)</p> <p>ミスをなくし、品質が高い状態を維持し、継続して作業を受注できるようにする。</p> <p>②支出面について(仕入れ、業務改善、コスト低減等)</p> <p>作業工程の分析を随時取り入れていく。</p> <p>③その他</p>

(2) 作業別の取組方針 - ④

<p>作業名④</p>	<p>施設外就労</p>
<p>取組方針</p>	<p style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </p>
<p>理由</p>	<p>作業日数を増やす。参加利用者を増やす。</p> <hr/> <p>【経営環境分析】 内部環境(強み・弱み)、外部環境(機会・脅威)を整理</p> <p>[強み]</p> <p>比較的簡単な作業であるため、参加できる利用者が多い。作業内容がサブカルチャーにかかわるものであるため、それらを好む利用者にとっては通所の動機付けとなっている。</p> <p>[弱み]</p> <p>送迎等の都合や、就労先の営業時間の兼ね合いで、作業時間を伸ばすことが困難</p> <p>[機会]</p> <p>比較的簡単な作業であるが、比較的高い時給で請け負うことができている。 支出がほとんどない。屋内作業であり天候に左右されない。 現在は作業の部門が限られているが、他の部門にも展開が期待できる。</p> <p>[脅威]</p> <p>作業人数が就労先の都合で上限が設けられている。</p>
<p>目標</p>	<p>作業日数を段階的に増やしていく(令和6年度:週2日→週3日) ※作業可能な部門を増やすことで、効率よく作業日数を増やすことが可能である。</p>
<p>具体的な 目標達成策</p>	<p>①収入面について(商品開発・価格設定・販路拡大・宣伝広告等)</p> <p>時給×作業時間×人数であるが、始めたばかりで時給の交渉は早い。1日の時間数は現状で頭打ちなので、日数を増やしていくことを検討していく。</p> <p>②支出面について(仕入れ、業務改善、コスト低減等)</p> <p>支出はガソリン代のみだが送迎しながら現場へ向かうため、できるだけ送迎の場所は減らしていくことが望ましい。</p> <p>③その他</p> <p>現行の工賃規定では、施設外就労の作業別時給と実際の請負金額に乖離がある。全体の収支も見ながらにはなるが、作業別時給の引き上げを行っていく。</p>

V 取組の年次計画

令和6年度

開所時間を再検討する。現在10時→9時～など。

ベーグルの製造販売:オンラインショップの販路拡大。新商品の発売。

パッケージング作業:作業効率アップのための工程工夫。

軽作業:現状維持。

施設外就労:作業日を段階的に増やしていくための人員配置の検討。
工賃規定での時給の引き上げ

令和7年度

ベーグル製造販売:製造限界まで行う。

パッケージング作業:現状維持。

軽作業:現状維持。または縮小。

施設外就労:新規就労先の開拓を含めて、週5日施設外就労を実施。

令和8年度

農業者との連携を強化し、小麦の製造から、ベーグルの販売まで概ね一貫して行っている状態を目指す。農作業補助とベーグル部門の一本化、及び、新商品開発。

現在の作業所を解約し、店舗兼作業所とすることで、経費削減と工賃原資確保をする。ベーグル製造販売と、施設外就労を中心に作業を組み立ていく。この時は店舗営業はやめている可能性が高い。